

令和6年度第3回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 令和6年（2024年）11月6日（水）午前10時～同12時

(2) 開催場所 宝塚市役所 大会議室

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

大平委員、川崎委員、榊委員、澤委員、高木委員、田中委員、片岡委員

・事務局（都市整備部 都市計画課）

吉田部長、谷口次長、黒川課長、白川係長、武田職員

・事業者

議事① 事業者 小林土地開発株式会社（欠席）

設計者 積水ハウス株式会社兵庫シャーマン支店

代理者 株式会社アルバス

議事② 事業者 堀内 和美（欠席）

設計者 アイ建築設計

施工者 株式会社アイ建設

(4) 議 事

議事① （仮称）SHM宝塚市野上・小林土地株式会社様邸

議事② （仮称）宝塚市伊子志三丁目PJ

(5) 傍聴者

議事①及び② 0名

2. 会議の要旨

事務局： 本日のデザイン協議部会は、委員8名中7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会デザイン協議部会の設置及び運営に関する規程第5条に準用する宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

宝塚市景観審議会の運営に関する規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいません。

会 長： 本日の署名委員は順番により、2番川崎委員と9番片岡委員です。

☆☆☆☆ (仮称) SHM宝塚市野上・小林土地株式会社様邸 ☆☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で、景観上特に配慮された部分についてご説明をお願いします。

設計者： 今回計画は共同住宅の新築で、建物は周辺の住宅から離して計画しています。

外観は、高級感のある邸宅をイメージしており、北側道路から見たときの軒の水平ラインを意識してデザインしています。

歩行者、自動車、自転車の動線をそれぞれ分けて計画しました。また、アプローチにはタイルを用いて特別感を演出するとともに、駐輪場は道路から直接見えないよう配慮しています。

会 長： ありがとうございます。では、ご意見やご質問をお願いします。

委 員： 外構図の専用庭の塀仕上げについて、どのような色を考えておられますか。パースを見ると、建物の明度差が大きいと感じます。

設計者： 添付しているカタログの中のソフィアというタイルを使用しています。今マンセル値はお伝えできませんが、外壁に近い色を選定しています。
(マンセル値：3.4Y7.6/1.0、2.5Y7.4/1.6 後日確認)

委 員： 建物外壁のマンセル値を見ると、基本的にはシックなイメージで、この地域にも調和している印象を受けます。ただし、アクセントとして使われている黒については少し暗いように感じます。この黒は屋根の色との調和を考えての計画ということでしょうか。この地域周辺では黒を基調とした外壁の建物は少ないのではないのでしょうか。

設計者： 外壁の色彩計画については、周辺の住宅と調和するベージュが良いと考え、メインの外壁をベージュのサイディングで計画しています。アクセントカラーとして、道路から見たときに締まった印象となるよう黒を選定しました。この黒に合わせて、屋根の色を選定しています。

委 員： 豊かな植栽を選んでおられ、まちなみにも貢献されていると思います。元々この周辺の住宅の外構は、川から採れたであろう丸い石積みの上に、住宅を囲むような形で生垣がある、そのようなまちなみとなっています。

一方、今回の計画は最近の主流となっているオープン外構です。もし可能であれば、高さ30cmでも良いので、北側道路沿いに石積みを配置していただくと、地域の歴史や景観との調和、道路との縁切りとしても有効ではないかと思えます。北側全面には難しいかと思えますが、一部でも良いのでご検討いただければと思えます。

次に、樹種についてです。まず、全体的に落葉樹が少ないため、落葉樹も複数入れてほしいと思えます。計画では、落葉樹はシダレモミジ1本のみで、それ以外はすべて常緑の樹種です。季節感を感じる木は景観的にも重要になるかと思えますので、ご検討ください。

例えば、カクレミノは、日当たりのない所で使われる樹種で、日当たりがあるとカクレミノ特有のきれいな葉の形やスタイリッシュな樹形が崩れてしまいます。代わりとして、樹形の美しいアオダモや、花や紅葉が見られるナツツバキ等、横に広がらずに樹形を楽しめて、季節を感じられるような樹種を選定いただければと思えます。

また、コバンモチとヒゼンマユミですが、これらは九州、沖縄でよく見られる樹種で、宝塚ではあまり見かけません。一般的なホルトノキやマユミが良いと思えます。

次に低木樹種について、北側は複数種をミックスされていて、景観的に豊かなものになるかと思えます。逆に南側のオタフクナンテンについては、メンテナンスが容易な点で人気ではありますが、成長が比較的遅く、1㎡あたり1本程度だと疎らな印象となってしまいます。1㎡あたりの本数を増やす、あるいは、もう少し成長が早いプリペット類やビョウヤナギ、ヒペリカム等にされるのが良いと思えます。また、よく使われるツツジ類やクサツゲ等も刈込にも強くて良いかと思えます。

最後に、緑化ブロックについて、北側に部分的に計画されていますが、可能であれば南側にも計画いただければと思えます。

設計者： 北側の道路沿いに石積を計画することについては、前面道路が狭いこともあり、圧迫感のない計画にしたいと考えています。ちなみに、北側に一部新設している石積は、勾配のある敷地形状の高低差処理のために必要なものになりますので、道路際への移動はできません。

東側において既存の石積を残し、更に間を埋める形で新設の石積を計画することで、周囲との調和を図っていきたいと考えています。

また、樹種についてですが、事業者より、メンテナンス上の問題から敷地外周は常緑樹にしたいとの要望を受けています。事業者へは落葉樹の提案も行ったのですが、結果的にシダレモミジを1本のみになったと

いう経緯があります。

なお、ヒゼンマユミやコバンモチの樹種の変更については、ご意見をもとに、樹木の大きさ等を確認した上で検討していきます。

南側の低木植栽については、隣地との高低差によりあまり日が当たらない場所なので、多くの植栽を入れても育ちにくいのではないかということから1㎡1本程度の計画としています。プリペット等への樹種の変更は可能かと思しますので、検討いたします。

委員： 北側の石積について、一部新設している石積は、勾配のある敷地形状の高低差処理のためとのことですが、高低差処理を道路際で行うことはできませんか。

また、落葉樹は季節に1回落葉しますが、常緑樹は年中落葉しているという認識を持っていただきたいと思います。ご提案したアオダモやナツツバキは、枝の広がり少なく、敷地の外に葉が多く落ちることはありません。道路際以外の樹木で落葉樹を選定できるところもあるかと思しますので、是非とも再度検討していただきたいと思います。

設計者： 北側の石積について、高低差処理は階段の段差のことも踏まえておりますので、この階段の段差を手前にしてしまうと、道路からすぐ階段となり、あまりゆったりとしたアプローチにならないと考え、こちらのようになさせていただきました。

会長： 緑化ブロックの件はいかがでしょう。余裕があれば、もう少し増やせませんか。

設計者： お金の面もありますが、基本的に緑化ブロックは育ちにくいこともあるため、これ以上増やすのは難しいです。

委員： 設計者の方も事業者の方も、この地域を理解していただいております。ありがとうございます。

本筋ではありませんが、資材置き場が気になります。特に北側については、できるだけ景観に配慮した、または景観を阻害しないような形にしていきたいです。囲いをするのであれば、落ち着いた色にしてほしいと思います。

資材置き場で新たな計画がある際には、計画地の面積的にはデザイン協議部会に諮らない規模となる可能性が高いかと思っております。是非今回の

計画と合わせて、資材置き場の範囲にも何らかの配慮をいただければと思います。事業者の方へもお伝えください。

設計者： お伝えします。

会長： 建物の色彩、植栽等の外構、また資材置き場についても、是非配慮いただきたい地域ですので、良いものを作っていただきたいと思います。

☆☆☆☆ (仮称) 宝塚市伊子志三丁目PJ ☆☆☆☆

会長： 今回の事業計画で、景観上特に配慮された部分についてご説明をお願い致します。

設計者： 建物の外観は、周辺の建物と調和するような色彩としました。
また、敷地に接する道路のうち、南側の道路幅員は狭いため、車両の出入りは北側のみとすることで安全性にも配慮して計画しました。

会長： ありがとうございます。では、ご意見やご質問をお願いします。

委員： 屋根について、素材はどのようなイメージでしょうか。資料に記載のある反射率52%はかなり高いと感じます。眩しさが周囲に影響すると思いますので、素材かテクスチャーを少し調整する等の配慮をいただければありがたいです。

設計者： 素材は、ガルバニウム鋼板です。反射率を抑える等、周辺への配慮について検討します。

委員： 階段の鉄骨部分の色について、無彩色に近いグレーとなっています。もう少し外壁の色味に合わせる等、配慮いただけますか。

設計者： わかりました。配慮します。

委員： 植栽計画について、敷地西側にボリュームのある植栽スペースを設けていただけていますが、折角ですので、まちなみ景観にとって、あるいは建物利用者にとってより良い場所にしていただければと思います。

具体的には、まず、敷地北側の駐車スペースと建物との間に低木の計画は可能でしょうか。幅40cm程度の植栽帯に低木のツツジやアオキを、幅40cmが取れない場合は地被類を入れる等、配慮していただければと思います。

また、敷地南側についても、建物1階に食堂がありますので、食堂から外を見た時に季節を感じられる植栽が見えると、より良い計画になると思います。屋外階段との兼ね合いもありますが、道路際だけでも植栽が入ればと思います。

次に、樹種について、選定されているシマトネリコは枝が広がる樹種になります。ソヨゴ、アオダモ等、比較的枝が広がらない樹種もありますのでご検討ください。

また、敷地北側のキュービクルについてですが、これまでデザイン協議部会では、設備関係はできるだけ見えないようにとお願いしてきています。今回計画では、フェンス等で隠されていませんし、キュービクルの隣にあるヤマボウシでは目隠しとしての役目は果たせません。キュービクルの配置自体を変更して道路から見えにくくする、もしくはキュービクルをフェンスや生垣等で囲むというような配慮をお願いします。

設計者： 植栽計画については、駐車場の計画との兼ね合いも考慮しながら検討していきたいと思います。また、シマトネリコについては、もう少し枝が広がらない樹種に変更したいと思います。

キュービクルの位置についても、併せて検討します。

委員： 敷地東側の駐車スペースは、どのような方が、どれくらいの頻度で利用されますか。また、大丈夫かとは思いますが、床タイルの上を車が通ることは望ましくないかと思えます。

設計者： 東側の駐車スペースについては、現段階では、頻繁な出入りのない従業員用で、縦列駐車での計画を考えております。駐車台数の附置義務の基準もありますので、そういった点も考慮しています。

タイルについては、割れやヒビ等が起こらないように、再度強度を確認した上で計画していきたいと思えます。

委員： 南側の通路からの駐車は基本的には難しいということですか。

設計者： 南側の道路の幅員が狭いことから、他課とも協議の上、北側の道路の

みの出入りとなります。

事務局： 本日欠席している委員より、質問をいただいております。

1点目、広告物について、設置場所未定とありますが、景観に配慮した場所、デザインが説明できるのであればお願いします。

2点目、各居室のエアコン室外機はどのように設置されますか。外部から見えないことが望ましいですが、避難経路等の兼ね合いで壁面吊り下げになる場合には、できるだけ目立たないように配慮いただければと思います。

3点目、物干場はどのように設置されますか。洗濯室内での乾燥や各室の室内干しで事足りるのであれば良いのですが、外部に物干し場を設けるのであれば、景観に配慮したものにしていただきたいと思います。

4点目、3階の各窓に庇を付ける、または屋根の軒を伸ばすことはできませんか。雨が直接窓に吹き込むことや、夏場は西日等で過ごしづらいことが懸念されます。

設計者： 広告物については、現在未定の為、今後検討させていただきます。

2、3階の室外機は、できるだけ外から見えないように計画します。

物干場と、庇の件についても、検討させていただきます。

委員： パースについて、バルコニーの上裏を黒で表現されていますが、実際の色味はどのようなものでしょうか。

設計者： パースよりもう少し明るい色になります。

会長： 入居する方々が住みやすいものとなるよう計画を進めていただければと思います。

それでは、本日の協議はこれで終了とします。